

きもつき119



平成28年度全国統一防火標語

「消しましよう その火その時 その場所で」

平成28年秋季火災予防運動

11月9日から15日まで



平成28年10月

第89号

管内人口 143,333人 平成28年7月31日
男 68,140人 女 75,193人 世帯数 69,926世帯

編集・発行 大隅肝属地区消防組合
TEL 0994-52-0119
HP (<http://www.fد-kimotsuki.jp/>)
「きもつきしょうぼう」入力でクリック



地震から身を守る10項目

1 まず身の安全

丈夫なテーブルの下などに隠れ、身の安全を最優先に行動する。



2 火の元確認 初期消火

火の元を確認し、出火したときには、落ち着いて消火する。



3 あわてた行動 ケガのもと

ガラスの破片や、転倒した家具等に注意する。外に出る際は瓦などの落下に注意する。



4 出口を確保

窓や戸を開け、出口を確保する。



5 スロック塀や石垣などには近寄らない

屋外で揺れを感じたら、スロック塀などには近寄らない。



6 火災や津波 確かな避難

- ・ 地域に大規模な火災の危険が迫り身の危険を感じたら、避難場所へ避難する。
- ・ 沿岸部では、大きな揺れを感じたり津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



7 正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



8 わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



9 協力し合って 救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



10 避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要なときには、スレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めて避難する。



南阿蘇村高野台での捜索状況

- ・ 熊本県から大分県にかけて発生した「平成二十八年熊本地震」に伴い、鹿児島県緊急消防援助隊が出動し、被災地で活動を行いました。
- 【本消防本部派遣状況】
- ・ 一次派遣隊 四月十六日～二十日
- ・ 救助小隊（六人） 救急小隊（三人）
- ・ 後方支援小隊（四人）
- ・ 二次隊派遣 四月二十日～二十五日
- ・ 消火小隊（五人）
- ・ 後方支援小隊（四人）
- ・ 三次派遣隊 四月二十五日～二十六日
- ・ 消火隊（五人）
- ・ 後方支援小隊（二人）

緊急消防援助隊派遣



秋の全国火災予防運動



全国統一
防火標語



平成28年11月9日(水)~11月15日(火)

目的

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 放火火災防止対策の推進
- (3) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (4) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (5) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底



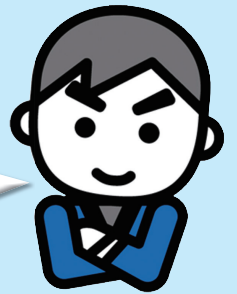
幼年消防クラブ員
による
防火パレード♪

消防団と消防署の
合同火災
防ぎよ訓練



住民を
対象とした
防火指導

火災予防運動って
どんなことをして
いるの？



訓練や建物の検査、
高齢者等の防火指
導をしているよ。



携行缶の
取扱いに
注意

平成二十五年に京都府福知山市の花火大会で多数の死傷者を出した爆発事故は、携行缶から発電機に給油する際の不手際により発生しています。悲惨な事故を起こさない為に、次の事に注意しましょう。

●給油時は必ずエア抜き

ガソリンは、高温になると揮発し携行缶内の圧力が上昇します。そのままキャップを開けてしまうと、ガソリンが噴き出て大変危険です。必ずエア調整ネジをゆっくり緩め、エア抜きを行います。

発電機等に給油する際は、引火する恐れがあるので、絶対にエンジンを停止してください。携行缶は直射日光の当たる場所や、高温となる場所には保管しないようにしてください。

●ポリタンクについて

ガソリン、軽油は灯油用ポリタンクに貯蔵しないでください。容器を侵食し破損する恐れがあります。





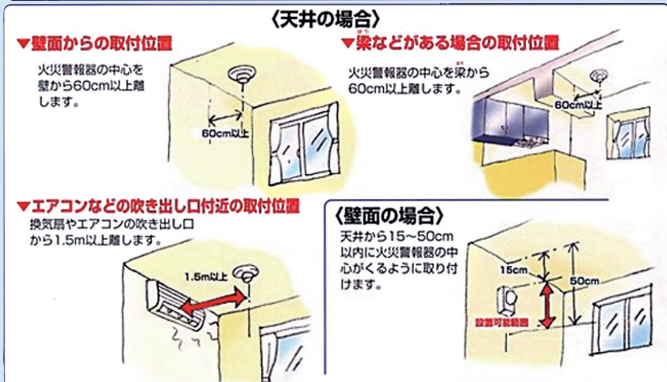
「住宅用火災警報器」設置していますか？

●奏功事例

(身近なところで役に立っています)

平成二十八年五月、鹿屋市内の共同住宅で住人がガスこんろに豚汁の入った鍋をかけたまま外出。鍋が空焚き状態となり、発生した煙により住宅用火災警報器（平成二十年頃設置）が作動。共同住宅の住民が警報音に気付き屋外に出て警報音のする部屋を確認すると、換気扇から白煙が出ていたため、屋外のガスの元栓を閉め、119番通報したものの、鍋の空焚きのみで、火災にはならずに済みました。

設置上の注意点（天井・壁面の取付位置）



設置してから年数が経過していませんか？

機種によっては、電池の寿命が迫っていたり、既に電池が切れているかもしれません。
定期的に点検や清掃をし異常があるようならば、電池交換や本体の取替えを行い、警報器が正常に作動するようにしてください。
いざという時の為に、日頃からの維持管理に努めてください。

火災発生！

① 小さな火だと思っても一人で消そうとせず、「火事だあー」と大きな声を出して家族や隣近所に助けを求めましょう。

① 周りに知らせる
小さな火だと思っても一人で消そうとせず、「火事だあー」と大きな声を出して家族や隣近所に助けを求めましょう。
声が出ないときは、やかんや鍋などたたいて周りに知らせましょう。



③ 初期消火

③ 初期消火
火が小さければ初期消火をしましょう。消火器や水などを使い消火を行います。天井に火が燃え移ってしまった場合はすぐに避難をしましょう。



② 119番通報慌てず、正確に

② 119番通報慌てず、正確に
火災を確認したら119番通報をしましょう。携帯電話からも119番で消防署につながります。落ち着いて、できるだけ正確に伝えましょう。
通報メモ（住所・電話番号など）を電話機の近くに貼っておくと落ち着いて通報できます。



未然に防ぐこと！

② 一番大切な事は…
これまで火災発生時の対策を説明してきましたが、一番の対策は未然に防ぐことです。
・寝たばこをしない。
・ストーブ等は燃えやすいものから離して使う。
・こんろから離れるときは、必ず火を消す。
など、簡単な習慣づけで火災は未然に防ぐことができます。
火災は少しの不注意で発生するものです。大切な家庭を守るためにも、しっかりと習慣づけるようにしましょう。





**高層階へ対応
三十五メートル級
はしご車導入
(水路付き梯子車)**

平成二十七年年度に大隅肝属地区消防組合に三十五メートル級先端屈折伸縮式のはしご付消防自動車を導入されました。

従来のはしご車と比較して大幅に性能が向上しており新はしご車には、先端部が独自の機構により屈折可能となりました。

これにより電線や樹木、建物のフェンスや手すりなど障害物を越えられるため、より迅速で安全な消火・救助活動が可能となりました。

また、従来は、放水をする際、はしごを伸ばすために別途ホースを取り付け、はしごの長さに合わせてその都度調整する必要がありました。新はしご車では水路管がはしご車の動きに合わせてスムーズに伸縮するため、起伏・伸縮・旋回・屈折時でも自由な放水が可能で、状況に応じた迅速かつ確実な消火活動ができるようになりました。



**寄贈 住民に感謝
高規格救急車を**

平成二十八年四月十一日に大隅肝属地区消防組合で、「輝北高規格救急自動車配備式」が行われました。

これは、株式会社森建設（輝北町上百引）が、会社設立六十周年を機に、これまで協力いただいた地元の皆様に恩返しをしたいと本組合に高規格救急自動車を寄贈していただきました。

昼夜を問わず、多数の救急出動をしています。

高規格救急車には、最新式の自動心臓マッサージ器をはじめ様々な救急要請に対応可能な救急資器材を積載しています。



救急講習を受講しませんか？

傷病者の救命率の向上を図るためには、救急車が到着するまで救急現場に居合わせた方による早期の応急処置が必要です。

サークル、事業所、家族、学校の友人同士、個人等、受講制限はありません。この機会に大切な人を守るために、受講してみませんか？

開催日時
毎月第三日曜日 九時から十二時

開催場所
鹿屋市新川町八〇〇番地
中央消防署

対象者
管内に居住している方・管内に勤務している方

受講申し込み・お問い合わせは中央消防署救急隊までよろしくお願ひします。

電話番号 〇九九四五二一一九九



●本当にあった通報例

- 病院に行く交通手段がない…
- 外来で待つのがめんどくさい…
- 日焼けで体がヒリヒリ…
- 靴ずれが痛くて…

本当に救急車が必要ですか？

近年、救急車の出動件数及び搬送人員はともに増加しており、救急車の現場到着までの所要時間が遅くなっています。

平成二十七年中、大隅肝属地区消防組合管内の救急出動件数は、**過去の最高の七〇〇二件**でした。その中で、約四割は入院を必要としない軽症の救急要請であり、本当に救急車を必要とする人が、後回しになってしまいう事態が起きています。

一刻を争う緊急患者のために救急車の適正利用をよろしくお願ひします。

緊急ですか？

その119番

消防長就任挨拶



大隅肝属地区消防組合
第19代 消防長
前田 忠盛

平成二十八年度の人事異動により四月一日付で大隅肝属地区消防組合第十九代消防長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

さて、近年の消防を取り巻く環境は、社会構造や環境の変化に伴い、災害は複雑多様化、大規模化し、さらにはゲリラ豪雨・竜巻を始めとした局所的な災害等も発生しており、各種自然災害に対する対応が求められております。管内におきましても、救急件数は年々増加の一途をたどり、大規模地震の発生や津波による被害も懸念されております。

これらの状況を踏まえ、管内住民の皆様への負託に応えるため、規律を厳正に消防防災のプロとしての意識を高く持ち、日々高度な知識や技術の習得を心がけ、職員一丸となって皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域に密着した消防業務にまい進してまいりますので、皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ就任のご挨拶といたします。

新消防職員紹介

平成二十八年度、六名の新人消防士が仲間入りしました。二名は消防学校入校中で、四名は各所属で毎日頑張っています。

和田 信也 (22)

鹿屋市向江町出身
東部消防署



消防士として責任感を持ち、日々訓練に取り組む、先輩方から学ぶ多くの事を吸収し、技術・知識を向上させていきます。
そして、地域住民の方々から信頼される消防士を目指し、努力致します。

井手口 滝希 (22)

錦江町田代出身
南部消防署



消防士として技術も知識もまだまだ足りないものばかりなので、これから日々訓練、勉強を行い、少しでも早く地域の方、先輩に信頼されるように、常に向上心を持ち、何事にも一生懸命取り組んでいきます。

熊之細 亮 (21)

南大隅町佐多出身
南部消防署



消防士として様々な状況に対応できるように知識や技術の習得に努め、早く先輩方に追いつけるよう頑張ります。常に自覚と誇りを持ち、何事にも向上心を持って取り組み、地域住民の方々が安心して生活できるまちづくりに貢献していきたいです。

伊藤 雄平 (21)

鹿屋市寿出身
東部消防署



昔からの夢であった消防士になれた事に満足せず、常に目標を持ち、消防士に必要な精神・知識・技術を身に付け、安心安全なまちづくりに貢献できる消防士になります。一日一日を大切に、日々成長を目標にして、地域の方々の生活を守るよう努力していきます。

園内 智成 (19)

鹿屋市今坂町出身
中央消防署



自分出来ることを、一つ一つ全力で行い、公務員としての自覚を持ち、初心を忘れることなく地域に貢献できる消防士になりたいです。また、周りの人々への感謝の気持ちを忘れず、地域の方々から信頼してもらえようように、持ち前の明るさと体力を発揮して頑張ります。

肥後 隆幸 (19)

鹿屋市西原出身
中央消防署



災害等の現場で住民の方々に助けたいと思い、消防士を志しました。住民の方々が安心して暮らせるよう技術や知識を豊かにしていきます。また、どんなに苦しい場面でも弱音を吐かず、常に全力で何事にも臨み、信頼され、地域に貢献できる消防士になります。

平成28年4月1日から電話番号が変更になりました。



消防本部

代表 52-0119 予防課 52-1192
総務課 52-1191 警防課 52-1193
FAX 40-0201

中央消防署

代表 52-1199
予防係 52-1198
FAX 52-1197